

## (敷島南小) 学校 学校関係者評価書

令和7年2月17日(月)  
(敷島南小学校) 学校関係者評価委員会作成

### 学校関係者評価委員会

実施日： 令和7年2月14日(金) 14時45分～15時40分  
(第3回学校運営協議会の議題の一つとして実施)

会 場： 敷島南小学校 多目的室

参加者：

(学校関係者評価委員)

学校運営協議会委員： 浅原千恵子・秋山佐和子・堀井昭・森本直美・  
中込寿之 岡島一浩(欠席)

P T A 代表： 中込 浩司(会長)

(学校側) 五味正年(校長)・堀内貴司(教頭)・伊藤浩史(教務主任)

### I 学校側から提案された内容

- ・学校経営方針
- ・学校評価(教職員, 保護者, 児童アンケート)に基づく自己評価書  
＜各項目における達成状況と改善策＞
  1. 全体評価について
  2. 学校教育目標・学校経営について
  3. 学校運営について
  4. 学習指導について
  5. 生徒指導について
  6. 地域との連携について
  7. 学校の特色について
  8. 創甲斐教育について
  9. まとめについて

### II 協議された主な内容

- ・「教育活動の支援体制について」
- ・「校務支援システムの活用について」
- ・「ICTの効果的活用について」
- ・「いじめの状況について」
- ・「地域との連携について」
- ・「学校の特色について」
- ・「児童のスマホ等の使い方に係る指導について」

## ＜学校関係者評価書＞

### I 全体評価

学校経営方針に基づき, 教育目標の実現に向けて, 一人一人の教職員がそれぞれの職務を遂行したことにより, 今年度の自己評価, 児童用アンケート及び保護者用アンケートの結果は, 肯定的回答の割合が高かった。このことから, 敷島南小学校の総合評価は良好な水準にあると考えられる。

## Ⅱ 特 徴

### 【教職員の自己評価】

- ・いくつかの設問において、否定的回答（C・D）が若干名あるものの、全設問において、肯定的回答（A・B）の割合が高い。全教職員による学校教育目標の具現化に向けた取組がなされていると言える。

### 【児童アンケート】

- ・肯定的回答（A・B）の割合が高く、児童は生き生きと学校生活等を送っていると感じられる。

### 【保護者アンケート】

- ・全体的にB回答が多いものの、ほとんどの設問において、肯定的回答（A・B）の割合が高い。学校の教育活動に関する設問においては、肯定的回答（A・B）の割合が高く、多くの保護者が、学校の教育活動に対して信頼を寄せているとうかがえる。また、家庭の教育活動に関する設問においても肯定的回答（A・B）の割合が高い。

## Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

### 【教育活動の支援体制について】

- ・理科の学習における実験器具の準備、片付けは、授業を行う教職員だけではなく、補助できる教職員をつけるなど、支援体制を整えるとよいのではないかと思う。

### 【校務支援システムの活用について】

- ・教職員の働き方改革に向けて、今後も有効活用できるよう、推進するとよい。

### 【I C Tの効果的活用について】

- ・一人一台端末を家庭に持ち帰る時はランドセルがかなり重くなるので、その際は荷物の持ち帰りを考慮してほしい。
- ・授業においてI C Tを効果的に活用できるよう、教職員の研修を充実するとよい。

### 【いじめの状況について】

- ・いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けて、状況をしっかり把握し、引き続き、その対応をしてほしい。

### 【地域との連携について】

- ・長塚地区の高齢者の見守りの方には、音楽会を参観してもらったり、年度末に児童からのお礼の手紙を渡したりなどの取組を行っているが、他の地区の方とも交流ができるとよい。
- ・学校ホームページを閲覧する機会の少ない地域の方のためにも、学校だよりを回覧版で回すことは、とても良い。

### 【学校の特色について】

- ・本校の特色として、吹奏楽部の活動を含め、音楽教育の充実化を推進していく。

### 【児童のスマホ等の使い方に係る指導について】

- ・4年親子学習として、毎年、出前授業を実施していくが、スマホ、ゲームの使い過ぎは健康面でも有害であることを指導していくとよい。

## ※特記事項

- ・特になし

